

報告事項No. 9

麻生区内学校施設包括管理業務委託の契約締結について

1 これまでの経緯

- はるひ野小・中学校の次期事業検討に際し、民間活用の中でどのような手法を用いるか、事業者へのサウンディング調査、他都市へのヒアリングを実施した。
- 令和5年3月に契約期間が満了となった「はるひ野小・中学校PFI事業」において、民間活用の評価が高評価であった。
- 施設の維持管理業務水準の向上を、はるひ野小・中学校以外にも波及させるとともに、かねてからの課題である職員の事務負担の軽減や業務生産性向上の効果も期待できる。
- 麻生区内小中学校を全市立学校展開に先立つモデルケースとして、民間ノウハウを活用した学校施設の安全・安心の確保、効率的かつ効果的な維持管理を行うことを目的とした包括管理業務の導入を進めることとした。

【対象校】

麻生区内の市立小中学校 24校（うち2校は小中合築校）

小学校（16校）		中学校（8校）
長沢小学校	王禅寺中央小学校	西生田中学校
西生田小学校	真福寺小学校	金程中学校
千代ヶ丘小学校	虹ヶ丘小学校	長沢中学校
金程小学校	柿生小学校	麻生中学校
百合丘小学校	岡上小学校	柿生中学校
南百合丘小学校	片平小学校	王禅寺中央中学校
麻生小学校	栗木台小学校	白鳥中学校
東柿生小学校	はるひ野小学校	はるひ野中学校

【対象業務】

- ・ 施設マネジメント業務 包括管理業務全体のマネジメント、巡回点検、軽微な補修対応等
- ・ 維持管理業務 保守点検（消防設備、エレベータ等）、清掃（トイレ、窓ガラス等）、その他（樹木剪定等）
- ・ 修繕業務 発注・工事監理・支払業務

【業務期間】

令和6年4月1日（月）～令和9年3月31日（水）

【事業者選定の経過】

内容	日程
実施要領等の公表	令和5年5月1日（月）
参加意向申出書等受付	令和5年5月29日（月）～令和5年6月2日（金）
提案資格確認結果通知	令和5年6月7日（水）～令和5年6月9日（金）
施設見学会	令和5年7月4日（火）
企画提案書受付	令和5年7月10日（月）～令和5年8月4日（金）
提案に関するヒアリング	令和5年8月30日（水）9時～12時/8月31日（木）9時～17時
審査結果通知・公表	令和5年9月7日（木）

2 審査方法及び審査基準等

（1）審査方法

幅広い専門的見地からの意見等を踏まえるため、学識経験者等により構成する附属機関である「川崎市教育委員会事務局民間活用事業者選定評価委員会包括管理業務部会」において、審査を行った。

No	氏名	所属	専門等
1	川崎 一泰	中央大学 教授	公共政策／公共経済学
2	難波 悠	東洋大学大学院 教授	公民連携
3	伊藤 麻里	アンダーソン・毛利・友常法律事務所	弁護士
4	朝日 ちさと	東京都立大学都市環境学部都市政策科学科 教授	環境経済学／都市地域経済学
5	諏訪部 真史	相模女子大学教職センター 特任教授	学校教育／学校経営／危機管理

（2）各項目の審査基準及び点数化方法

項目	評価	評価基準	点数化方式
1 事業者評価	A	とても良い	配点×1.0
2 基本方針	B	やや良い	配点×0.75
3 業務遂行能力	C	普通	配点×0.5
4 情報管理	D	やや悪い	配点×0.25
6 事業者提案	E	悪い	配点×0.0
5-(1) 経済波及効果・地域活性化（提案者の構成）		市内事業者係数：1、準市内事業者係数：0.7とし、 （（提案者の市内事業者数＋提案者の準市内事業者数×0.7） ／提案者の構成事業者総数）×20	
5-(2) 経済波及効果・地域活性化（市内事業者の活用）	A	市内事業者への発注割合75%以上	配点×1.0
	B	市内事業者への発注割合70%以上75%未満	配点×0.5
【保守点検・清掃等の維持管理業務】	C	市内事業者への発注割合70%未満	配点×0.0
5-(2) 経済波及効果・地域活性化（市内事業者の活用）	A	市内事業者への発注割合85%以上	配点×1.0
	B	市内事業者への発注割合80%以上85%未満	配点×0.5
【修繕業務】	C	市内事業者への発注割合80%未満	配点×0.0
7 金額		（最も安価な提案者の参考見積額／各提案者の参考見積額）×50	

300点満点とし、全ての項目の点数を足し上げた上で、小数第2位を四捨五入したものを合計点とする。

(3) 評価項目

項目	内容
1 事業者評価 (30点)	(1) 組織・人員体制 (2) SDGsに関する取組 (3) 財政基盤・決算状況 (4) 類似業務の実績
2 基本方針 (20点)	本業務の実施方針・考え方
3 業務遂行能力 (100点)	(1) スケジュール (2) 業務品質 (3) 総括責任者 (4) 業務の進め方・効率性 (5) 緊急対応体制 (6) モニタリング
4 情報管理 (20点)	情報共有・システム活用
5 経済波及効果・地域活性化 (70点)	(1) 提案者の構成 (2) 市内事業者の活用
6 事業者提案 (20点)	付加サービス・独自のノウハウ
7 金額 (40点)	参考見積額

3 優先交渉権者の選定

(1) 応募事業者

No	代表事業者名	業者登録区分
1	株式会社 ぐらしのセゾン	市外
2	株式会社 オーエンス	市外
3	和光産業 株式会社	市内
4	日本管財 株式会社 神奈川支店	市外
5	シービーアールイーCMソリューションズ 株式会社	市外

(2) 審査結果

順位	代表事業者名	総合点 (300点満点)	うち 金額項目点 (40点満点)
1	和光産業 株式会社 【優先交渉権者(受注予定者)】	249.1点	39.7点
2	日本管財 株式会社 神奈川支店 【次順位者】	248.1点	34.3点
3	A	246.5点	40.0点
4	B	214.8点	29.3点
5	C	199.6点	34.1点

(3) 優先交渉権者の概要

- ア 構成 (代表事業者) 和光産業 株式会社 【市内・中小】
(構成事業者) 株式会社 ハリマビシステム 【市外・中小】
総合警備保障 株式会社 川崎支社 【準市内・中小】
- イ 代表者 和光産業 株式会社 代表取締役 矢口 寛志
- ウ 代表者所在地 川崎市川崎区綱管通一丁目3番17号

4 今後のスケジュール

事業者との仕様書等の協議に加え、総括責任者による学校施設への現地調査を進めているところであり、11月に契約を締結する。

内容	日程
契約締結	令和5年11月
市内事業者説明会	令和6年1月
業務実施に向けた調整	令和6年1月～令和6年3月末